

海外事業

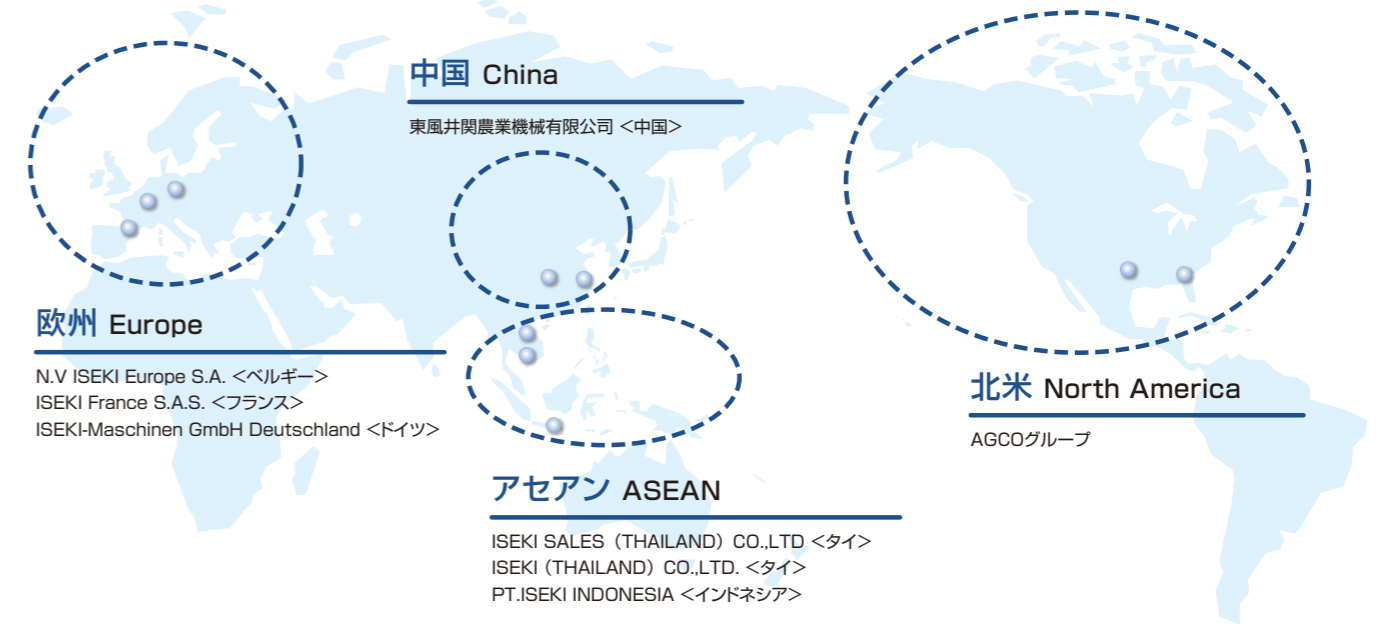
“中国事業”と“アセアン事業”が成長エンジン グローバル戦略の本格展開をさらに加速

北米・欧州事業の拡大に加え、“中国事業”と“アセアン事業”を成長エンジンと位置づけ、グローバル戦略の本格展開をさらに加速させてまいります。北米・欧州・中国・アセアン市場を4極の柱とし、2020年度には持分法適用会社を含むグローバル海外売上高比率40%以上を目指します。地域の特性を活かした商品開発、生産、販売ならびにサービス体制を強化するとともに、それらを支える人材の育成強化にも取り組み、農業の機械化への貢献と事業の拡大を図ってまいります。



取締役専務執行役員
海外営業本部長
豊田 佳之

主な海外拠点・提携先 (2016年12月末現在)



欧州事業

ISEKIフランスを核とした事業展開により、 売上拡大を図る

井関グループの欧州でのビジネスは長く、2017年に50周年を迎えました。1971年ベルギーに“ヨーロッパキセキ社”を設立し、以後フランス、ドイツをはじめ欧州各国に拡販を続けてまいりました。欧州においては、ISEKI France S.A.S.を事業展開の核に据え、欧州におけるISEKIブランドの構築を図るとともに、品揃えの拡充とサービス・サポート体制を強化し、売上・シェア拡大に注力してまいります。



部品デポセンター

北米事業

エコノミートラクタの拡販により、 シェア拡大を目指す

北米においては、アメリカに広い販売網をもつ農機メーカー AGCO社に、コンパクトトラクタをはじめ、ユーティリティトラクタなどをOEM供給しています。AGCO社との協業を一層強化し、顧客ニーズに合わせた「新たな商品」を投入することで更なる売上の拡大を目指してまいります。



エコノミートラクタラインナップ拡充

中国事業

トラクタの本格販売、 新商品の展開により売上拡大を目指す

農業の機械化が急速に進む中国市場では、東風井関農業機械有限公司によるトラクタの本格販売やコンバイン等の新商品の投入などにより、売上拡大を目指します。新工場も完成し、今後品揃えの拡充を図るとともに、中国国内だけでなくアセアン市場へも商品を供給することにより業容を拡大してまいります。



2016年度は中国生産のトラクタを本格展開

グローバル 生産体制

東風井関襄陽新工場完成

中国国内+アセアンへの輸出基地

東風井関農業機械有限公司では、新工場が稼働いたしました。新たな生産拠点で、田植機をはじめ、高馬力トラクタや、アセアン向けの汎用コンバインなどを生産し、順次生産品目を増やしてまいります。井関グループは、新工場を“生産基地”として活用し、中国国内のみならず、アセアンのお客さまに喜ばれる製品をより多く届けてまいります。



湖北省襄陽市の新工場が稼働開始

PT.ISEKIインドネシア フル生産へ

低価格ニーズに対応した生産基地

海外向け低価格ニーズに対応したトラクタの生産拠点。2014年に北米向けトラクタを生産開始以降、アセアン向け、欧州向け等機種拡充し、フル生産となりました。アセアン市場における生産拠点の核として、現地調達の推進や現場改善を図るなど、生産性向上への取り組みも強化してまいります。



トラクタの生産基地「PT.ISEKIインドネシア」

アセアン事業

アセアン全域での 販売・サービス力の更なる強化を図る

タイ市場では、2013年に設立したISEKI SALES (THAILAND) CO.,LTD.での販売を通じてISEKIブランドの構築を図ってきました。2016年にはタイ市場だけでなくアセアン全域における販売・サービス力の更なる強化のため、ISEKI (THAILAND) CO.,LTD.を新しく設立。今後、合併先パートナーとの協業を一層強化することにより、タイでの事業を確立するとともにタイ周辺国への販路拡大を目指してまいります。



アセアン向け戦略トラクタ